

# 大川ひでのり レポート

今年度は、  
経済建設委員長を拝命しています。

大川秀徳（おおかわひでのり）

1977年（昭和52年）8月13日常滑市大野町生まれ。大野保育園、大野小学校、青海中学校、常滑北高校卒業の生粋の常滑生まれ・常滑育ち。中京大学在学中に市場区で生活し、祭礼やバスケットボールでたくさんの地域の方々から育てて頂く。平成21年1月から瀬木区鳥根で暮らしを立てる。家族構成は妻と3人の息子（高1・中2・5歳）と一人の娘（2歳）

## 常滑市の未来を次なる世代へ!

### 令和4年第3回市議会定例会（令和4年8月31日から9月28日まで）



#### 水難事故について

Q. 海岸に面する本市は、水難事故がいつでも起こり得る地域である。水難事故を起こさせないため、市民への啓発活動が重要だと考えます。水難事故が起きたとき、救助活動をするための配備は十分か。

小学生向けにライフジャケットを使った安全教室を行う自治体もあるが、本市でも導入してはどうか。

A. ライフジャケットを使った安全教室の導入は命を守る取組として有意義なものだと考えているが、感染症の影響や猛暑による屋外での授業中止など、授業時間の確保自体が課題となる中で、学校として主体的に安全教室を実施することは非常に難しい状況にある。

Q. 空からの捜索が有効であることから、防災・災害用ドローンを導入してはどうか。

A. 令和4年7月に発生したりんくう町沖合での行方不明者捜索に係る水難救助事案で、愛知県警のヘリコプターが飛来直後に行方不明者を発見した事例もあったので、ヘリコプターに頼らず俯瞰的に現場把握ができるドローンの導入は、検討すべき課題であると認識している。導入については、常時運用が可能な体制が必要不可欠であり、防災も関係するので、全庁的に調査研究をしていく。

#### 水遊び施設について

Q. 近隣市町の公園内にある「じゃぶじゃぶ池」等の水遊び施設が盛況だが、本市でも整備してはどうか。

A. 桜原公園に整備されているが、設備の老朽化及び故障等による安全衛生の確保が困難であること、設備更新費等のコストが増大することにより機能を停止している状況である。水遊び施設はほかの公園施設と比べコスト面、安全面、衛生面等の課題も多いと考えており、現時点において新たな親水施設の整備予定はない。来年度、長寿命化計画を策定予定であり、計画的に施設修繕、更新をしていく中で、公園利用者のニーズ、ライフサイクルコスト、安全性等を総合的に検討し、親水施設の必要性については判断していく。

### 令和4年第4回市議会定例会（令和4年12月6日から12月20日まで）



#### スズメバチの苦情や相談への本市の対応について

Q. スズメバチの巣の駆除費補助金を創設してはどうか。

A. 土地や建物は、原則その所有者が管理を行うことに基づき、補助制度については今のところ創設する考えはない。

Q. スズメバチの危険性の注意喚起や駆除業者を紹介する等、市民への情報発信が必要ではないか。

A. 情報発信は非常に重要なので、今後、市からわかりやすく伝えられるホームページ等を作成する。



## 令和5年第1回市議会定例会（令和5年3月6日から3月24日まで）

### 常滑市指定ごみ袋について

Q. 指定ごみ袋を地域の事業者と協力してレジ袋として活用している自治体があるが、本市でも導入してはどうか。

A. レジ袋購入の代わりに指定ごみ袋を購入して使用すれば、使用後にはごみを出す際に利用でき、レジ袋削減につながる効果は期待できるが、課題もあるので、他の自治体の取組などを調査研究する一方で、マイバッグを持ち歩くことをさらに呼びかけるなどして、4Rの一つであるリフューズ（断る）の周知を図り、レジ袋をはじめとする使い捨てプラスチックの削減を図っていく。



## 令和5年第2回市議会定例会（令和5年6月12日から6月23日まで）

### 公園の利活用について

Q. 他市町では、防災対策の視点やインクルーシブ公園による共生社会の視点で整備された公園も増えてきた。

防災対策に視点を置いた公園整備が必要ではないか。

A. 本市の公園における防災の視点での活用方法としては、地域の防災倉庫の設置、一時避難場所の指定等であり、避難者が長期にわたって滞在することを想定していないため、かまどベンチ等の防災機能を持たせた施設は整備していない。今後、防災計画の見直し等により、必要性が生じた際に検討していく。

Q. 共生社会の形成に向け、インクルーシブ公園の整備が必要ではないか。

A. 障害の有無にかかわらず子供か大人かも関係なく訪れ、誰もが楽しめる公園整備の必要性は十分認識している。遊具のみならず園路やスロープ、広場、ベンチなど公園全体を考慮する必要があることから、新たな公園整備や全面的なリニューアルの際には検討していく。今後、既存の公園施設を長寿命化し、維持していく中においても、遊具の取替えが必要な際には、ユニバーサルデザイン遊具も含めて検討するなど、対応が可能なところから取り入れていく。

### 育児休業中における在園児の保育の継続利用について

Q. 2号認定児から1号認定児になった場合も、お迎え時間を変更せずに預けることはできないか。

A. 様々な場面で子育て支援の拡充を図っていくことは必要である。例えば1号認定児の延長保育サービス、いわゆる預かり保育事業の該当事由に、保護者の育児を新たに追加するなど、1号認定児でも2号認定児と同様に16時まで預かることができるような仕組みの検討を早急に進めていく。

### 【当選のご報告】

令和5年4月23日に行われました常滑市議会議員選挙にて、皆さまより1,703票のご信託を頂き、2回目の当選を勝ち取ることができました。引き続き、地域のお困りごとを一つでも多く解決できるように、自己研鑽につとめます。



杉江繁樹愛知県議会議員と街頭演説

新瀬木橋東交差点にて



後援会の皆様と街頭活動

